

平成28年第2回定例会
(会期 6月10日～28日)

6

月10日から第2回定例会が開かれました。

豊後大野市民病院薬剤師修学資金貸与条例の制定など、15議案が上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。また、請願1件を採択し、議員発議による意見書1件を可決しました。

15日から3日間にわたり、行われた一般質問には、11人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。

(8～18ページ参照)

今定例会には、延べ44人の方々が傍聴に訪れました。

平成28年度 一般会計補正予算(第1号)

1億8446万4千円



《一般会計予算総額》 242億3446万4千円

主な事業

祖母山麓尾平青少年旅行村
改修工事請負費 5千万円

老朽化により、床、外壁等の施設改修を行うもの。

用作公園駐車場補修工事
請負費 300万円

熊本地震により駐車場の亀裂拡大に伴う補修。

林業用施設災害復旧事業 2500万円

熊本地震により被災した林道施設復旧によるもの。

住宅・建築物安全ストック
形成事業 2490万円

熊本地震発生の影響による相談者数増に伴う耐震診断・耐震改修増額補正。

賛成討論 (一部)

各項目とも市政運営に必要な経費であり、妥当だと思う。尾平青少年旅行村は、宿泊室の床に不具合が生じるなど、現在は休業中で誠に残念である。指定管理者も厳しい環境の中、精一杯がんばっていただいたと考える。

祖母・傾山系の雄大な大自然とそれに育まれた生物多様性を体感できる拠点施設としても、極めて有望であり、早急に改修し再開するよう強く求める。ジオパーク、エコパークの展開で本市の知名度を向上させ、農業をはじめとする産業発展に結実させていただきたい。

反対討論 (一部)

6月議会の予算提出は基本的に当初予算を補う形で組まれる予算であり、地震関連の予算などは緊急性を要する予算として理解するが、尾平青少年旅行村改修関連は6月補正予算に提案する根拠が明らかでない。説明責任のない拙速な予算提示である。

指定管理解約の経過も契約協定の内容が全く順守されていない。解約の十分な説明が議会に全く行われなかったことにも疑問を持つ。

この補正は、明瞭性、厳密性、事前決定、限定性など補正予算の原則に反する行為であり、大きな欠落がある。

